

健康相談活動	3年・後期	2単位 30時間	教授 佐光恵子
科目カテゴリー	養護に関する科目	科目ナンバリング	36011183

1. 授業のねらい・概要

学生は、学校において養護教諭が行う健康相談(活動)に焦点をあて、健康相談(活動)の基礎的知識および実際に必要な技術を修得する。

2. 学修の到達目標

1. 養護教諭が行う健康相談活動の概念と意義を理解し述べることができる。(D-1)
2. 健康相談活動を進めるための技法について理解し実践することができる。(D-2)
3. 保健室に来室する児童生徒への保健指導の方法を理解し実践することができる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、視聴覚教材、グループワークを取り入れ、実践的能力を養うために学生の主体的な取り組みを期待する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

対話・議論型授業・グループワーク等を用いる。

【ICT活用実施の有無】

ICTは活用しない。

4. 授業計画 (講義・演習)

回	授業内容	授業形態	事前事後学修(学修課題)	担当
1	児童生徒の心と身体	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光恵子
2	児童生徒の健康問題	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
3	健康相談の目的、内容	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
4	健康相談の基礎 ①子どものヘルスニーズ	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
5	健康相談の基礎 ②対象理解	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
6	保健室の目的、保健室のモデル作成	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
7	保健指導案作成	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
8	保健指導案作成と発表	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。	佐光

			復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	
9	健康相談の実際 ①ロールプレイ 事例 A	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光
10	健康相談の実際 ②ロールプレイ 事例 B	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光
11	ロールプレイのまとめ発表	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光
12	健康相談過程	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光
13	学校保健における連携	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光
14	学校保健とスクールカウンセラー	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光
15	まとめ	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み，わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ，課題学習	佐光

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60%，課題レポート20%，提出物20%で，総合的に評価する。

成績評価は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価とする。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲や出題方法は，事前に口頭で指示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：采女智津江他著 新養護概説第13版（CD-ROM付）少年写真新聞社者2024

学校保健・安全実務研究会編著 新訂版学校保健実務必携(第5次改訂版) 第一法規2020

参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

参考文献を初め，本学図書館に所蔵の本科目関連書籍について，予習復習をそれぞれ90分程度行うこと。

8. 受講上の留意事項

2年次の教職関連の規定科目の単位を取得していること。

主体的，意欲的な授業への参加が重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

日常的に新聞雑誌・テレビ・書物等々を通して教育問題に関心を持つこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職の必修科目であり，修得できない場合は免許状取得不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

群馬県下の公立学校の養護教諭，及び群馬県教育委員会指導主事の実務経験を活かして，講義等を行う。